

2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 株式会社ビューティカダンホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舩田正一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 三島まりこ (TEL) 096-370-0004  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績(2024年7月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	1,807	5.9	△74	—	△71	—	△58	—
2024年6月期第1四半期	1,707	12.2	△31	—	△28	—	△31	—

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 △58百万円(—%) 2024年6月期第1四半期 △30百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	△14.5	—
2024年6月期第1四半期	△7.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	2,491	473	19.0
2024年6月期	2,717	544	20.0

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 473百万円 2024年6月期 544百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	7,600	8.8	110	29.6	110	10.4	70	145.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 2社 (社名) 有限会社さかいや生花店、除外 一社 (社名) —  
株式会社THE MOMENT

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期1Q	5,076,000株	2024年6月期	5,076,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	1,015,100株	2024年6月期	1,018,600株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年6月期1Q	4,058,908株	2024年6月期1Q	4,049,448株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年7月1日から2024年9月30日まで)におけるわが国経済は、インバウンド消費の拡大や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、地政学的リスクの長期化や国内外の金融情勢の動向により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中当社グループは、当期より新たにスタートした中期経営計画に掲げる「新体制によるグループ収益力強化と、サステナビリティ経営の推進により企業価値向上・株価上昇へつなげる」ことを基本方針として、「経営基盤の強化」「各事業の売上拡大(グループ収益力の強化)」「サステナビリティ経営の推進と企業価値向上」を重点戦略とし取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、1,807,649千円(前年同期比5.9%増)、営業損失は、74,022千円(前年同期は31,081千円の損失)、経常損失は71,148千円(前年同期は28,165千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は58,828千円(前年同期は31,002千円の損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、969,932千円(前年同期比9.9%増)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2024年7月から2024年8月までの売上高・取扱件数ともに増加傾向で推移し、葬儀単価につきましても持ち直し傾向で推移しています。

このように、引き続き葬儀業全体では市場は今後も拡大傾向にある一方で、全国的に進む「家族葬」や「密葬」、「一日葬」等葬儀の小型化による単価の下落傾向等への対応が求められる状況となっております。

このような状況の中で、当事業では中期経営計画に基づく戦略の実行と葬儀の縮小傾向に対応した新たなサービス展開や新商品販売等を実施してまいりましたが、原材料費や人件費高騰等の影響により、営業利益は21,988千円(前年同期比55.5%減)となりました。

## (生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っておりますが、当期間におきましては、期中盤において気温上昇による入荷量の減少や台風による物流の乱れ等が発生したことによって、販売単価が高騰したことに加え、後半では取扱量が増加したこと等を受け、売上高は648,004千円(前年同期比3.6%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2024年9月)によると、2024年7月から2024年9月までの切花累計の取扱金額は17,371百万円(前年同期比0.2%減)、数量では208百万本(前年同期比0.3%減)と1本あたりの単価は高止まり傾向で推移いたしました。

このような状況の中で、当事業では引き続き生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みを実行しつつ、合わせて販売価格への転嫁や取扱品目の精査、販管費効率化等を実施した結果、営業利益は16,326千円(前年同期比53.8%増)となりました。

## (ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、1件あたりの単価が回復(上昇)傾向にあったため、74,698千円(前年同期比12.3%増)となりました。

少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウエディングやレストラン・ウエディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、これまでは大きな市場規模が保持されておりましたが、コロナ禍の影響を受け同市場規模は大幅に縮小し、その後回復基調で推移しております。

このような状況の中、同事業では関西・九州エリアにおける既存顧客・エリアへの深掘りによる受注増、同エリアでの新規取引先拡大、リテール部門の売上拡大に取り組んでまいりましたが、原価や人件費高騰の影響を受け、営業損失は15,528千円(前年同期は6,611千円の損失)となりました。

## (その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、システム開発事業においてインボイス対応の特需があった前期との比較では減少したこと等により、売上高は115,013千円（前年同期比13.3%減）、営業損失は売上の減少と農業において連作障害が発生したことによる影響を受け、27,432千円（前年同期は1,953千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ226,616千円減少し、2,491,271千円となりました。これは主に、現預金の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ155,724千円減少し、2,018,053千円となりました。これは主に、借入金の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ70,891千円減少し、473,217千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期の業績予想につきましては、2024年8月14日に公表いたしました連結業績予想から、現時点においては変更はありません

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,071,375	661,092
売掛金	573,063	718,628
商品	33,935	50,172
仕掛品	3,387	6,952
原材料及び貯蔵品	33,306	41,743
その他	94,497	91,226
貸倒引当金	△10,337	△11,362
流動資産合計	1,799,228	1,558,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	699,167	720,414
減価償却累計額	△360,664	△377,502
建物及び構築物(純額)	338,503	342,912
車両運搬具	11,726	21,322
減価償却累計額	△10,648	△18,819
車両運搬具(純額)	1,078	2,503
工具、器具及び備品	152,374	158,153
減価償却累計額	△142,063	△147,177
工具、器具及び備品(純額)	10,310	10,976
土地	228,914	239,998
建設仮勘定	1,278	1,019
その他	15,880	7,216
減価償却累計額	△13,161	△4,607
その他(純額)	2,718	2,608
有形固定資産合計	582,803	600,018
無形固定資産		
ソフトウェア	50,003	48,103
のれん	5,005	4,588
無形固定資産合計	55,009	52,692
投資その他の資産		
差入保証金	54,607	54,795
繰延税金資産	12,231	10,360
保険積立金	190,862	191,645
破産更生債権等	12,857	12,857
その他	23,207	23,599
貸倒引当金	△12,920	△13,152
投資その他の資産合計	280,845	280,105
固定資産合計	918,658	932,817
資産合計	2,717,887	2,491,271

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	179,675	320,260
短期借入金	470,000	360,000
1年内返済予定の長期借入金	187,398	182,343
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	78,342	111,664
未払法人税等	54,234	2,372
未払費用	114,185	79,361
賞与引当金	210	31,457
資産除去債務	10,000	10,000
その他	168,376	68,333
流動負債合計	1,282,422	1,185,792
固定負債		
社債	60,000	50,000
長期借入金	701,946	655,801
リース債務	43,683	40,936
退職給付に係る負債	67,219	67,017
資産除去債務	18,505	18,505
固定負債合計	891,355	832,261
負債合計	2,173,777	2,018,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	152,407	154,613
利益剰余金	405,282	330,224
自己株式	△226,874	△224,892
株主資本合計	544,055	473,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	32
その他の包括利益累計額合計	54	32
純資産合計	544,109	473,217
負債純資産合計	2,717,887	2,491,271

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,707,717	1,807,649
売上原価	1,517,084	1,625,478
売上総利益	190,633	182,171
販売費及び一般管理費	221,714	256,193
営業損失(△)	△31,081	△74,022
営業外収益		
受取利息及び配当金	24	76
為替差益	968	2,300
受取賃貸料	385	338
補助金収入	1,593	317
その他	2,630	3,925
営業外収益合計	5,602	6,959
営業外費用		
支払利息	2,591	3,899
その他	95	185
営業外費用合計	2,686	4,084
経常損失(△)	△28,165	△71,148
特別利益		
固定資産売却益	320	-
負ののれん発生益	-	15,918
特別利益合計	320	15,918
特別損失		
リース解約損	102	-
特別損失合計	102	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△27,947	△55,229
法人税、住民税及び事業税	3,054	1,727
法人税等調整額	0	1,871
法人税等合計	3,054	3,599
四半期純損失(△)	△31,002	△58,828
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△31,002	△58,828

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純損失(△)	△31,002	△58,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	△22
その他の包括利益合計	36	△22
四半期包括利益	△30,966	△58,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,966	△58,850
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年9月27日 定時株主総会	普通株式	36,445	9.00	2023年6月30日	2023年9月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年9月25日 定時株主総会	普通株式	16,229	4.00	2024年6月30日	2024年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	882,863	625,737	66,502	1,575,103	132,614	—	1,707,717
外部顧客への売上高	882,863	625,737	66,502	1,575,103	132,614	—	1,707,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,874	262,451	535	264,861	7,829	△272,690	—
計	884,738	888,188	67,037	1,839,965	140,443	△272,690	1,707,717
セグメント利益 又は損失(△)	49,401	10,613	△6,611	53,404	△1,953	△82,532	△31,081

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△82,532千円には、セグメント間取引消去14,129千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△96,661千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	969,932	648,004	74,698	1,692,635	115,013	—	1,807,649
外部顧客への売上高	969,932	648,004	74,698	1,692,635	115,013	—	1,807,649
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,170	310,318	893	313,381	519	△313,900	—
計	972,103	958,322	75,591	2,006,017	115,532	△313,900	1,807,649
セグメント利益 又は損失(△)	21,988	16,326	△15,528	22,786	△27,432	△69,376	△74,022

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△69,376千円には、セグメント間取引消去41,576千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△119,951千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

生花祭壇事業において、有限会社さかいや生花店の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては15,918千円であります。なお、負ののれんの発生益の金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。また、負ののれん発生益は特別利益に含まれるため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	8,410千円	10,868千円
のれんの償却額	417千円	417千円